

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 94

2015年10月20日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、岡島 いつみ 先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「平成27年度『共同研究希望テーマ説明会』 しずだいとつながるシーズを大公開！～技術と人材のための企業・大学“出会いの場”～」を開催します
2. 「第97回『産学官交流』講演会・交流会」のご案内
3. 静岡大学「第14回アントレプレナー講演会」を開催します
4. 「静岡大学食品・生物産業創出拠点 第40回研究会」ご案内
5. 静岡大学・中日新聞連携講座2015 「光の不思議な世界」ご案内
6. 2015ビジネス講座 「再生可能エネルギーを事業化する」ご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

-
1. 「平成27年度『共同研究希望テーマ説明会』 しずだいとつながるシーズを大公開！～技術と人材のための企業・大学“出会いの場”～」を開催します

本説明会は、大学の“ものづくり技術”に関わる研究成果を地域企業の皆様に紹介し、大学との共同研究等を通じて企業の技術開発や人材確保に資することを狙いとしています。

皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】2015年11月12日（木） 13：00～17：00

【会 場】ホテルアソシア静岡 3階『橘』

【プログラム】

13：30～14：10 テーマ①

『高性能・高精度な機械実現を目指して』 工学部機械工学科 教授 大岩 孝彰

14：10～14：50 テーマ②

『超高張力鋼スポット溶接継手およびスポットウェルドボンド継手の疲労強度評価』

工学部機械工学科 助教 藤井

朋之

15：00～16：10 テーマ③

『難削材の切削加工』 工学部機械工学科 准教授 酒井 克彦

テーマ④

『新材料の切削加工』 工学部機械工学科 助教 静 弘生

16：10～16：50 テーマ⑤

『塑性加工における高精度プロセスシミュレーション』 工学部機械工学科 教授 早川 邦夫

しずだい産学連携メールマガジンVol194

【参加費】 無料

【主催】 静岡市、静岡大学イノベーション社会連携推進機構、静岡TTO
【後援】 しずおか信用金庫、静岡信用金庫、島田信用金庫、焼津信用金庫
静岡商工会議所、静岡市清水商工会、蒲原商工会、由比町商工会
東海iNET、静岡大学産学連携協力会

【詳細】 http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno_event002315.html

【申込・問合せ】

静岡大学イノベーション社会連携推進機構 産学連携推進部門
TEL : 053-478-1413
FAX : 053-478-1711
メール : tane8p[at]cjr.shizuoka.ac.jp

2. 「第97回『産学官交流』講演会・交流会」のご案内

今回は静岡大学から講演者を招き開催いたします。
是非この機会に大学関係者・講演者と交流され、今後の事業活動等にお役立ていただきますようご案内申し上げます。

【日時】 2015年11月19日（木）
講演 17:00~18:30 交流会 18:45~19:45

【会場】 静岡商工会議所・清水事務所
講演 3階「研修室」 交流会 7階「交流サロン」

【プログラム】

講演1 : 『車々間通信で実現する事故防止・自動運転・運転者支援』
総合科学技術研究科工学専攻 准教授 石原 進
講演2 : 『花は分子によって環境ストレスに適應する』
創造科学技術大学院 教授 渡辺 修治

【参加費】 無料（交流会参加者は1,000円）

【定員】 30名

【主催】 静岡市清水産業・情報プラザ（指定管理者：静岡商工会議所）
【共催】 新産業開発振興機構

【詳細】 http://www.siip.jp/index/seminar_event/275.html

【問合せ】 静岡商工会議所 新産業課（担当：西村、相磯）

TEL : 054-355-5400

FAX : 054-340-5117

メール : info2[at]nio-s.net

3. 静岡大学「第14回アントレプレナー講演会」を開催します

今年度は「地方創生」のキーワードの下、地域社会および世界にも進出を進めている地域企業の経営者をお招きし、チャレンジ精神活気醸成のための貴重なメッセージをいただきます。
皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】 2015年12月10日（木）
講演会 15:00~16:45 [受付14:30~]
交流会 17:00~18:00

【会 場】 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館
〈交流会〉高柳未来技術創造館

【講 演】 「ものづくり企業の挑戦」(仮題)
講師 株式会社アイエイアイ
代表取締役 石田 徹 氏

【入場料】 無料

【主 催】 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
【共 催】 静岡大学産学連携協力会
【後 援】 文部科学省、経済産業省、中小企業基盤整備機構関東本部
(予定) 静岡県、静岡県産業振興財団、静岡県中小企業団体中央会
新日本有限責任監査法人、静岡銀行、清水銀行、静岡県信用金庫協会

【申込・問合せ先】
静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL : 053-478-1713
FAX : 053-478-1711
E-mail : antre[at]cjr.shizuoka.ac.jp

4. 「静岡大学食品・生物産業創出拠点 第40回研究会」ご案内

【日 時】 2015年12月11日(金) 13:15~16:50
【会 場】 アクトシティ浜松 コンgressセンター 5階52-54会議室
(浜松市中区板屋町111-1)

【講 演】
テーマ: グローバル化の中の食品・生物産業と機能性表示食品

- ① 「食品の新たな機能性表示制度の概要」13:20-14:10
三生医薬株式会社 研究開発本部 企画開発部 係長 杉浦瑞枝 氏
- ② 「機能性成分(GABA)又は主食(米)がヒトの自律神経機能(心臓・胃腸)に及ぼす影響
—攻めのヒト栄養学を目指すための工学技術—
」14:10-14:55
静岡大学 創造科学技術大学院 講師 沖田善光
- ③ 「写真事業からヘルスケア事業への展開」15:05-15:55
富士フイルム株式会社 医薬品・ヘルスケア研究所 統括マネージャー 江藤雅弘 氏
- ④ 「ビールと健康」15:55-16:45
サッポロビール株式会社 価値創造フロンティア研究所 上席執行役員 所長 中村剛 氏

【懇親会】 ホテルクラウンパレス浜松 3F「竹の間」 17:00~18:30

【参加費】 (当日、受付にて)
〈講演〉 会員・後援団体及び学生: 無料 非会員: 1,000円
〈懇親会〉 会員: 3,000円 非会員: 5,000円

【主 催】 静岡大学食品・生物産業創出拠点
【後 援】 静岡化学工学懇話会、静岡大学イノベーション社会連携推進機構(予定)

【問合せ】 静岡大学イノベーション社会連携推進機構内

しずだい産学連携メールマガジンVol194
静岡大学食品・生物産業創出拠点 事務局
TEL : 054-238-4361
FAX : 054-238-3018
E-mail : oshirao[at]ipc.shizuoka.ac.jp

5. 静岡大学・中日新聞連携講座2015 「光の不思議な世界」ご案内

ノーベル物理学賞受賞で話題となった青色LED
日本の光技術に注目が集まる中、浜松の最先端の光研究をお届けします。

【日 時】2015年10月3日（土）～2016年2月13日（土）
【会 場】静岡大学浜松キャンパス 附属図書館浜松分室（S-Port）3階大会議室

【プログラム】

第2回：11月8日（日）14：00～16：00

『瞳をキャッチ：近赤外光を利用した瞳孔検出技術・視線検出装置の開発』
大学院総合科学技術研究科 教授 海老澤 嘉伸

第3回：12月5日（土）14：00～16：00

『自然界にない光で見えるものとは：テラヘルツ波の発生と応用』
電子工学研究所 特任教授 佐々木 哲朗

第4回：2016年1月23日（土）14：00～16：00

『トンボの目で極限現象を見る：ヒトとは違う見方で、見えてくる』
電子工学研究所 准教授 香川 景一郎

第5回：2016年2月13日（土）14：00～16：00

『近未来は光健康診断：光を使って体の活動や健康状態を測る』
大学院総合科学技術研究科 准教授 庭山 雅嗣

【受講料】 無料

【定 員】 100名 申込先着順

【詳 細】 <http://www.lc.shizuoka.ac.jp/event002262.html>

【申 込】 下記いずれかの方法でお申込みください

FAX : 054-238-4295

メール : LLC[at]entry.Lc.shizuoka.ac.jp

葉書 : 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学イノベーション社会連携推進機構 連携講座係

※郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号、講座名、参加回を明記してください。

6. 2015ビジネス講座 「再生可能エネルギーを事業化する」ご案内

本講座では、太陽光、木質・畜産系バイオマス、小水力などの再生可能エネルギーを活用した発電事業に興味関心のある事業者、NPO、地域活動者等の方々を対象に、事業化のための実践的・実用的な知識を身につけることを目指します。

【日 時】2015年10月8日（木）～12月3日（木）

【会 場】静岡市産学交流センター・B-nest

【プログラム】講義（90分）を聴いた後、15:00からはグループワークと講師との
ページ(4)

しずだい産学連携メールマガジンVol194
ディスカッションになります。

第2回：10月22日（木）13：30～17：00

『木質バイオマス活用による地域電熱併給事業』

福島ミドリ安全株式会社 白石 昇央 氏

第3回：10月29日（木）13：30～17：00

『畜産系バイオマス・食品残渣活用によるバイオガス発電事業』

福島大学共生システム理工学類教授 佐藤 理夫 氏

第4回：11月20日（金）13：30～17：00

『小水力発電の開発ステップ』

全国小水力利用推進協議会 松尾 寿裕 氏

第5回：12月3日（木）13：30～17：00

『地域資源を活用した再生可能エネルギー事業の取り組み』

しずおか未来エネルギー株式会社 服部 乃利子 氏

【受講料】 無料

【定員】 20名

【詳細】 <http://www.lc.shizuoka.ac.jp/event002282.html>

【主催】 福島大学地域創造支援センター

静岡大学イノベーション社会連携推進機構

【協力】 静岡県地球温暖化防止活動推進センター

【申込・問合せ】 静岡大学イノベーション社会連携推進機構（担当：水谷）

TEL / FAX：054-238-4280

メール：mizutani.yoichi[at]shizuoka.ac.jp

《 みんなのコラム -88- 》

記：静岡大学大学院総合科学技術研究科工学専攻化学バイオ工学コース
助教 岡島いづみ

私たちの研究室では、主に水や二酸化炭素、アルコールを溶媒とした技術に関する研究を行っています。とは言いましても、室温・大気圧の水や二酸化炭素ではできることは限られるので、温度や圧力を変化させ、超臨界状態、亜臨界状態、過熱蒸気等、様々な条件でどのようなことができるか検討しています。

例えば、超臨界二酸化炭素を溶媒とした有用成分の抽出やポリマーの重合、金属粒子への金属コーティング等の材料創製等、または超臨界・亜臨界水、過熱水蒸気を用いたプラスチックのリサイクルやバイオマス廃棄物のエネルギー化、排水処理等、研究範囲は多岐にわたっています。

本学のイノベーション社会連携推進機構主催の展示会や技術説明会を含め、研究成果を説明する機会に恵まれていたこともあり、これまで行ってきた研究テーマの半分以上は企業から持ち込まれたテーマです。元々は超臨界流体を用いたプラスチックのリサイクルを専門にしていたので、それ以外のテーマで共同研究を進めるにあたっては、その分野を生成物の分析方法や反応の解析手法も含めて一から勉強して対応させていただくこともしばしばです。

またこれらの研究内容は卒業研究としても扱わせていただくことが多いため、企業の実践的な内容と、大学での研究として成り立たせるための基礎的研究内容をどのように組み合わせしていくか、試行錯誤の連続です。

超臨界流体は高圧条件であることから、技術として導入が見送られることも多かったのが実情です。一方で企業からは超臨界流体を用いることでどのようなこ

しずだい産学連携メールマガジンVol194

とができるか知りたいという要望も多いことから、持ち込まれたテーマが、高圧でもそれに見合う高効率な、もしくは新規のプロセスとなり得るのか、またどこまで条件の緩和ができるのか等を見出すために、基礎的なデータを出しながら、技術としてのメリットをどこに出せるのかを明らかにしていけるよう共同研究を進めております。

共同で研究を行っています佐古教授からの、「企業の役に立つ研究成果は、社会にも役に立つ成果」の教えの元、今後も地域や企業のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っておりますので、皆様の一層のご教授・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

《岡島先生の研究にご興味をお持ちの方は下記HPをご覧ください》
<http://cheme.eng.shizuoka.ac.jp/~sakolab/index.html>

《 編集後記 》

静岡大学は、この度、文部科学省平成27年度「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に選定されました。

事業名称は『静大発“ふじのくに”創生プラン』です。

本事業では、人口流出数全国ワースト2位である静岡県の最大の課題である若年層人工の流出を食い止め、定着を促進するため、新産業の創出等に取り組みつつ、県内・県外の大学等教育機関、静岡県及び政令市2市を含む県内市町と県経済団体、金融機関ほか企業・財団等と協働し、“ふじのくに”の豊かな地域資源等を活用して新たな豊かさを生み出せるような人材を育成することを目標としています。

皆さまのご理解とご協力を得ながら進めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp) まで
お願いします。(↑送付の際は[at]を@に変更してください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

編集：谷口悠里

発行責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1413

URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

Copyright(c) 2008-2015

Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved